

**令和元年度進捗評価シート**  
**大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(長倉地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 道路美装化整備事業	6
5 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	7
6 大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業	8
7 桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 歴史的町なみ調査事業	11
10 秋田犬情報発信拠点整備事業	12
11 三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業	13
12 大館神明社周辺環境整備事業	14
13 歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業	15
14 大館城下の町名板整備事業	16
15 まち歩きマップ作成事業	17
16 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	18
17 歴史案内人育成事業	19
18 小・中学校社会科副読本作成事業	20
19 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	21
20 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	22
21 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	23
22 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	25
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	26
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 第3回歴史まちづくりシンポジウム(ほか1件)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 交流人口の拡大及び広域連携の促進	29

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	<b>30</b>
--------------------------------	-----------

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
計画実施のための組織体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

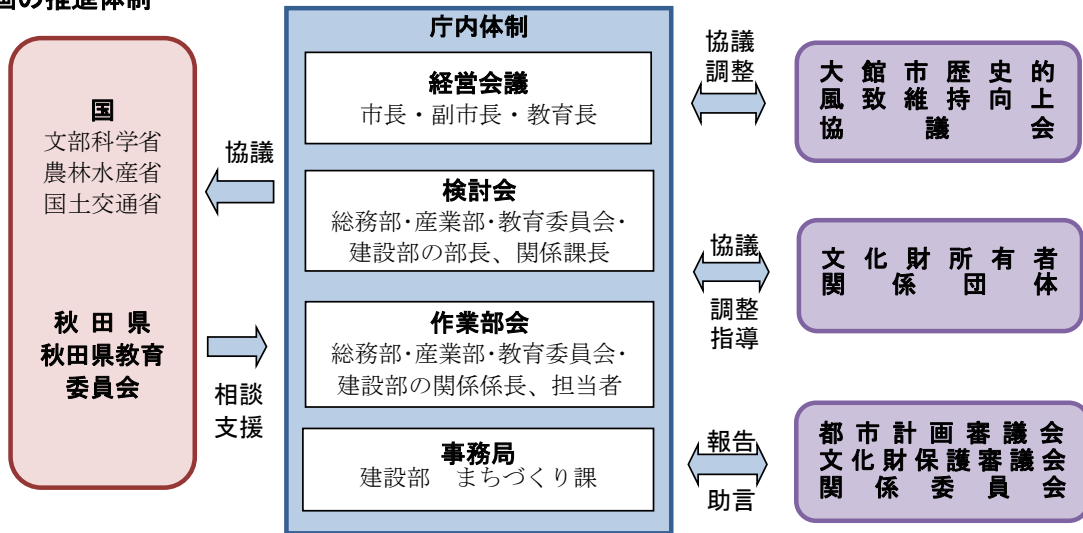
定性的・定量的評価(自由記述)

大館市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、大館市歴史的風致維持向上協議会を開催し、取り組み状況の報告及び事業の進捗にあわせて現地視察を行った。また、歴史的風致形成建造物の保存補修にあたり、建造物部会を3回開催し、専門委員から助言をいただき、計画に反映した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護、歴史研究会及びまちづくり協議会など各地域の関連団体と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

- ①歴史的風致維持向上協議会 令和元年11月6日、令和2年3月11日(書面報告)
- ②歴史的風致維持向上協議会(建造物部会) 平成31年4月23日、令和元年8月7日、令和元年12月4日
- ③都市計画審議会 令和元年12月17日、令和2年3月11日(書面報告)
- ④文化財保護審議会 令和2年3月19日



歴史的風致維持向上協議会(建造物部会)  
(令和元年8月7日/桜櫓館)



歴史的風致維持向上協議会(現地視察)  
(令和元年11月6日/八幡神社)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

都市計画道路見直しにあたり、将来交通量推計による検証及び路線ごとの見直しの方向性を決定した。地域公共交通網形成計画に基づき、自家用有償運賃分科会において地域のニーズに適う新たな移手段を確保するため、合同勉強会を開催した。あわせて、他市で取り組んでいる様々な事例を学ぶため先進地視察を行った。  
 ・令和2年2月21日分科会、合同勉強会開催(47人参加)  
 ・令和元年10月10日～11日先進地視察研修(岩手県奥州市、福島県会津若松市)

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

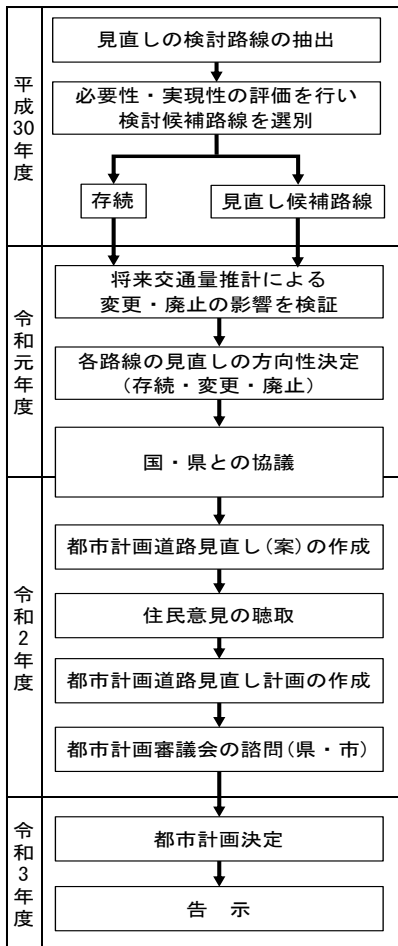
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

交通事業者の役割や利用者等のニーズなど公共交通としての位置付けや相互の調和を図ることが引き続き求められる。

状況を示す写真や資料等

大館市都市再興基本計画

- ・都市計画マスタープラン(見直し)
- ・立地適正化計画
- ・地域公共交通網形成計画



都市計画道路の見直し業務(フロー図)

良好な景観の形成に関する施策	策定期間(予定)
都市計画マスタープランの見直し	平成30年度策定完了
立地適正化計画	平成30年度策定完了
地域公共交通網形成計画	平成29年度策定完了
都市計画道路の整備方針の策定	平成30年度～令和3年度
景観計画の策定と景観条例の制定	令和3年度以降予定
屋外広告物の設置規制や条例の制定	令和3年度以降予定

良好な景観を形成する施策の策定スケジュール



地域公共交通活性化協議会勉強会  
(令和2年2月21日)



地域の足確保のための先進地視察  
(福島県会津若松市/令和元年10月11日)

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。令和2年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

・公園の景観を維持する芝生管理業務を継続して実施した。また環境美化活動として土塁の一部を整備した。  
 ①公園の芝生管理(年4回)②土塁の環境美化活動  
 ・桂城公園との調和を図る新庁舎の建設工事が順調に進んだ。あわせて、本丸跡にある老朽化している市民体育館及び武道館の解体工事が完了した。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

桂城公園(大館城本丸跡)を城址公園にふさわしい景観形成を目指すにあたり、市民や関係団体等と意見交換を行い、基本計画を策定する。

状況を示す写真や資料等

○桂城公園(大館城本丸跡)の修景実績

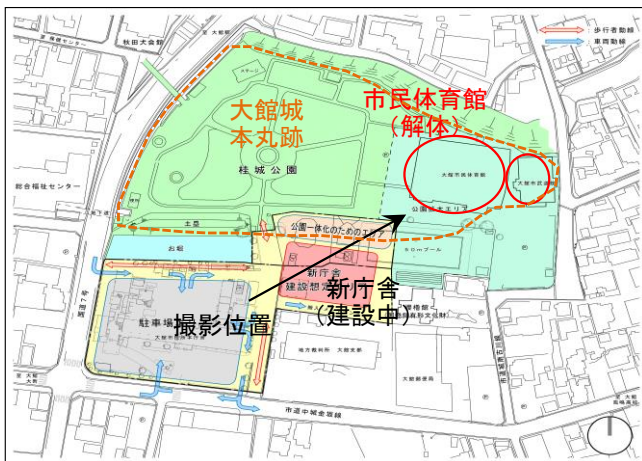


公園内の芝生管理(完了後)



土塁に繁茂している低木の整理(作業中)

○桂城公園(大館城本丸跡)にある老朽化した公共施設の解体



市民体育館(解体前)  
令和元年7月26日撮影



市民体育館(解体後)  
令和元年11月27日撮影

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
一般国道7号(長倉地区)電線共同溝整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和4年度

支援事業名 道路関係/国直轄/電線共同溝事業

計画に記載している内容 一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成29年度 下り線220m電線共同溝本体工事(管路)完了  
 平成30年度 下り線140m電線共同溝本体工事(管路)完了  
 令和元年度 下り線420m電線共同溝本体工事(管路)完了  
 令和2年度以降 電線共同溝本体工事(管路)を推進

進捗状況

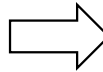
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

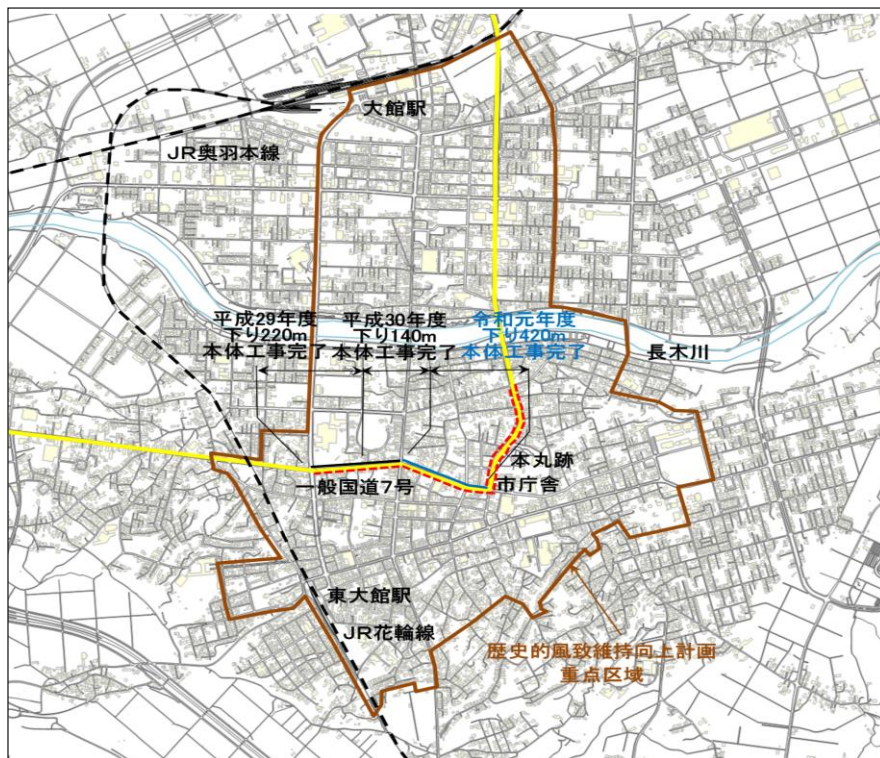
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)  
 ※歩道部舗装の美装化及び抜柱は  
 次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道大館十和田湖線は、大館神社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度に電線共同溝の整備計画の策定(電線共同法第5条)を行うため、各電線管理者へ建設負担金算定依頼を行い、回答を得た。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

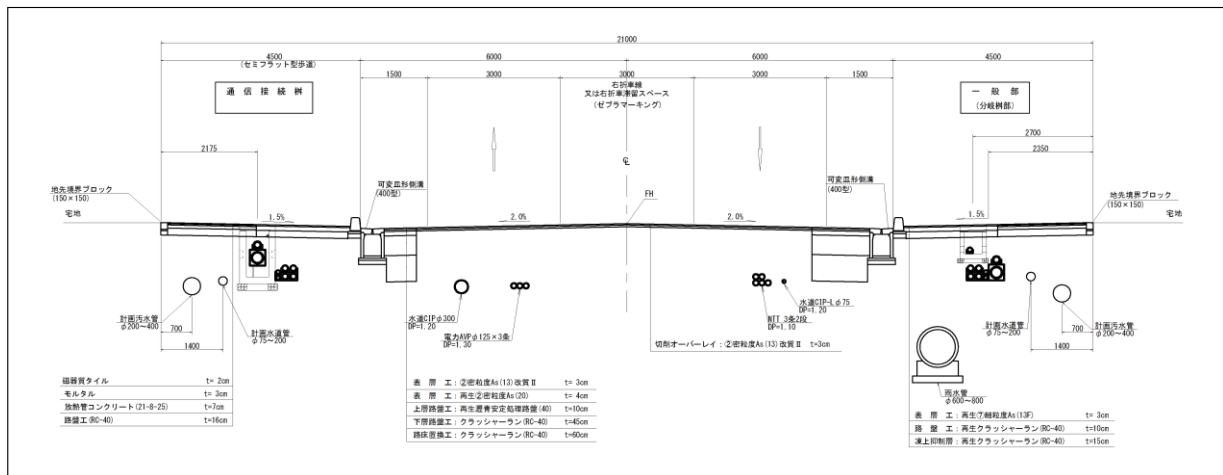
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

区画整理事業区域内のため、土地利用が流動的な箇所もあり、宅内引込管の位置を関係者へ確認しながら決定する。

状況を示す写真や資料等



電線共同溝(完成イメージ図)



計画標準断面図

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
道路美化整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
市単独事業

計画に記載している内容 大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

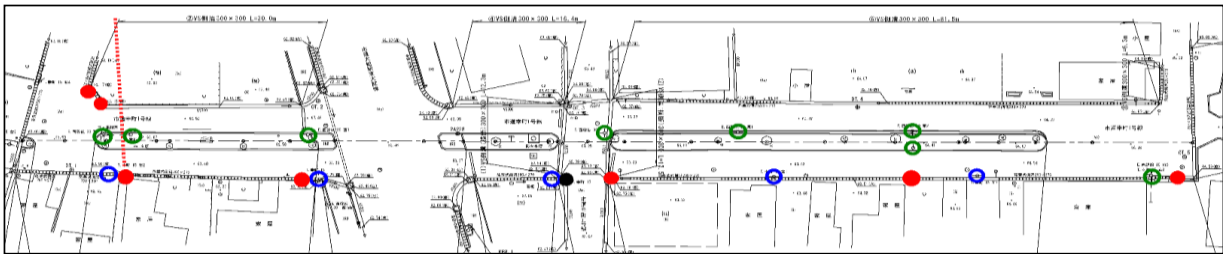
新富町、新開地地区の桜並木通りの道路修景にあたり、道路両側の電柱電線類の統合及び修景を行い、桜並木上空の架線を道路片側に統合した。また、破損が著しい植樹帯ブロックや路側側溝は、道路横断勾配を緩和するとともに再構築した。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない  
令和2年度から整備予定の三ノ丸地区についても、電柱電線類の統合及び修景に向け、電信通信業者と連携を図り、整備を進める。

状況を示す写真や資料等

○桜並木通り電柱電線類の統合及び修景(完了)



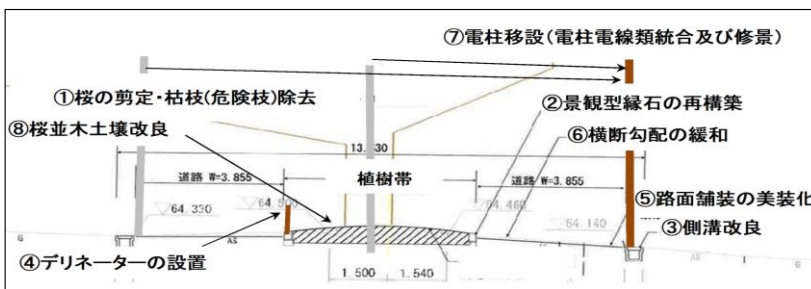
電力柱(植樹帯)  
NTT柱(南側路側)  
【統合移設前】



電柱電線類の統合  
景観色の鋼管柱に修景  
【統合移設後】

種別	移設前	統合 修景後	本数
NTT柱	○	●	5 → 1
電力柱	○	●	8 → 7
計			13 → 8

○桜並木通り植樹帯及び路側側溝修景工事(完了)



桜並木通り道路美化(計画断面図)  
路面舗装の美化(令和2年度施工)



桜並木植樹帯及び路側側溝  
整備完了写真

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館城跡の桜の樹勢回復のため、平成30年度に引き続き、地元小学生約200人の協力をいただき、桜への「お礼肥」として施肥の作業を行った。あわせて、桜やシロヤナギなどの樹形の維持のため、造園業者により剪定を行った。また、地元町内会は4月から9月までの期間、北側斜面にある階段などの草取りや側溝清掃など、景観を保全するための作業を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○「御礼肥(おれいごえ)」・桂城公園の桜

- (1)開催日 令和元年5月17日
- (2)参加者 桂城小学校、城南小学校5・6年生(約200人)
- (3)指導者 日本樹木医会秋田県支部の会員
- (4)御礼肥 “今年の開花に感謝し、来年の満開に願いを込めて”  
桜廻りの根元を掘り、肥料を施肥



施肥作業状況(桂城小学校・城南小学校の児童)

○大館城跡周辺の緑地保全



公園内の桜剪定(作業状況)



公園内のシロヤナギ剪定(作業状況)



北側斜面の刈り払い(完了後)



地元古川町内会による美化活動



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
(重文)八幡神社防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業

計画に記載している内容 重要文化財八幡神社(正八幡宮本殿・若宮八幡宮本殿)を保護する覆屋は、老朽化が進んでいることから、本殿を保全するための対策に取り組む。覆屋の改修にあたっては、できるだけ参拝者が本殿を拝観しやすい構造も考慮しながら、本殿を安全に管理できるように整備を行う。あわせて重要文化財への延焼を防ぐ防火対策の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

重要文化財本殿二棟を保護する覆屋について、実施設計に基づき建替工事が完成した。あわせて、老朽化している建造物群の拝殿・幣殿も、改修工事が完成した。

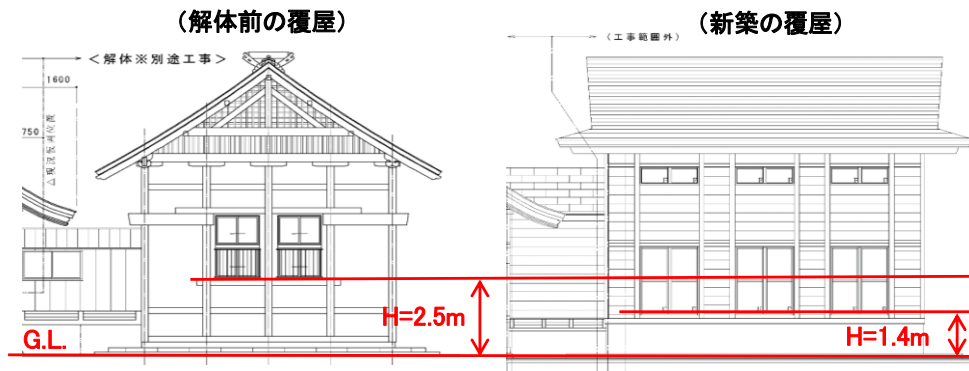
また、重要文化財への延焼を防ぐため、防火シャッターの設置、自動火災報知設備等の更新を行った。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○覆屋建替工事(立面図)

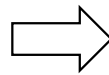


- ① 開口部を低く、また大きくすることにより、外部からでも重要文化財を仰ぎ見て参拝が可能
- ② 拝殿と覆屋からの落雪で幣殿屋根の堆雪が多くなり、屋根が傷むため、屋根勾配の向きを変更

○覆屋建替工事(写真)



着工前



完成

左から拝殿・幣殿・覆屋(南側から撮影)



覆屋内部完成(重要文化財二社)



防火設備設置(防火シャッター)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成30年度に実施した耐震診断予備及び実地調査結果を基に、重要文化財(建造物)耐震診断・耐震補強の手引きにより精密診断法(限界耐力計算、三次元解析法)で耐震診断を行った。耐震診断の結果は、耐震性能が低く、地震時に建物が倒壊する危険性があるため、耐震改修に向けた実施設計が完了した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

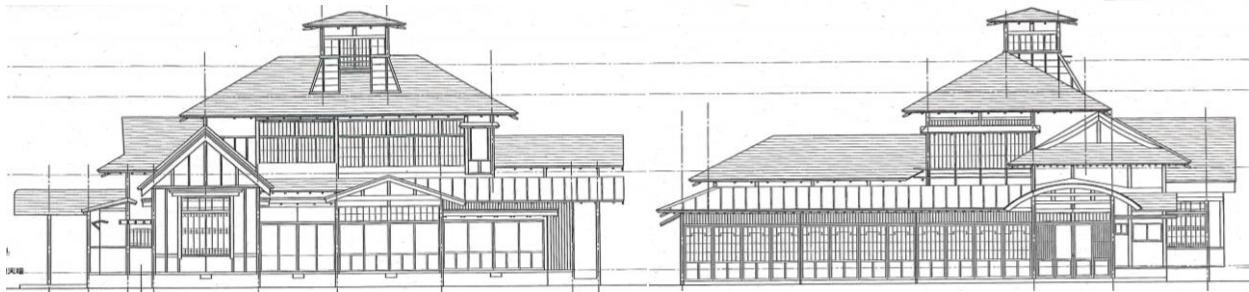
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

文化財の耐震改修にあたり、建築当時の部材等に損傷を与えないよう慎重に工事を進める。また、改修履歴データをまとめ、今後同様の改修に活用する。

状況を示す写真や資料等

○耐震診断の結果

(耐力壁が不足しており、地震時や暴風時に倒壊のおそれがあるため、耐震改修が必要である)



(東側立面図)

・壁量はあるが、配置バランスが悪い

(南側立面図)

・各部屋が襖や障子で仕切られており、壁が少ない  
 ・外周部に開口部が多い

○耐震補強の方針、方法

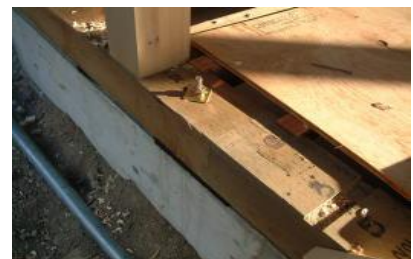
(補強壁をバランスよく配置し、建物の耐力増加を図り、また上下階の耐力のバランスを図る)



一部既存壁を構造用合板で補強



釘を増し打ちし、水平構面の剛性確保



基礎と土台をアンカーボルトで固定

○建物の修景及び電気・機械設備の更新



サイディング張り外壁を板張りに変更



自動火災報知設備の新設



非構造部材(吊り下げ灯具)の更新

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
大館神明社保存補修事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は本市を代表する秋祭りとして受け継がれている。例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述)

本殿廻りにある玉垣について、平成30年度に再構築した擁壁の内側に、改修前同様に杉材を用いて玉垣を再構築した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

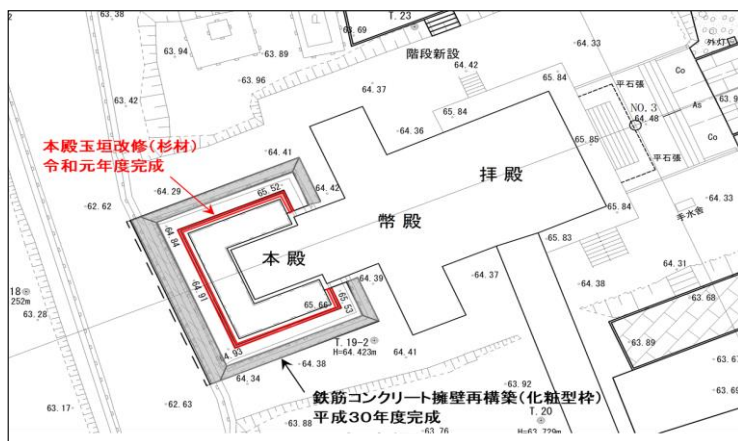
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

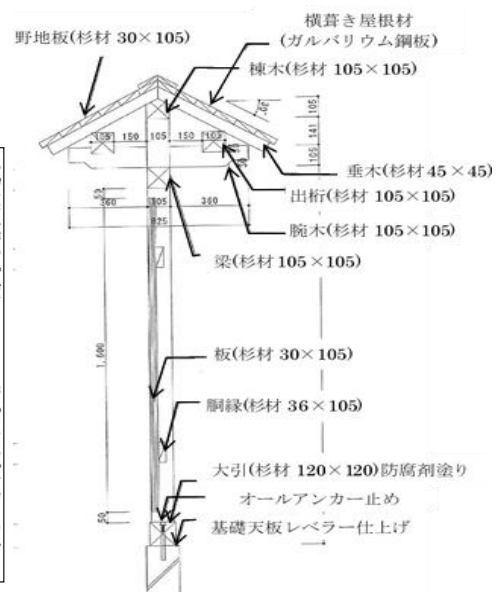
○本殿廻りの玉垣の再構築(令和元年度施工完了)



本殿玉垣改修工事(完成写真)



本殿玉垣改修工事(完成平面図)



本殿玉垣改修工事(完成断面図)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴史的町なみ調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業  
市単独事業

計画に記載している内容 城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていないため、建築様式などの詳細調査を行う。  
歴史的建造物などの建築工法の調査や修理には、高度な専門知識が必要であるため、ヘリテージマネージャーの育成を目指すとともに、その養成活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成30年度にヘリテージマネージャーの資格を修得した会員で構成する「大館歴史的建造物研究会」が令和元年7月1日に設立し、ステップアップ講座、フィールドワーク及びシンポジウム開催など活動を行った。  
・ステップアップ講座(2回)、フィールドワーク(3回)、歴史的建造物シンポジウム(1回)

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

ヘリテージマネージャー養成講座で、知識を修得した会員から構成する団体から、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等の推進に向け、引き続き一緒に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

○大館歴史的建造物研究会(活動実績)

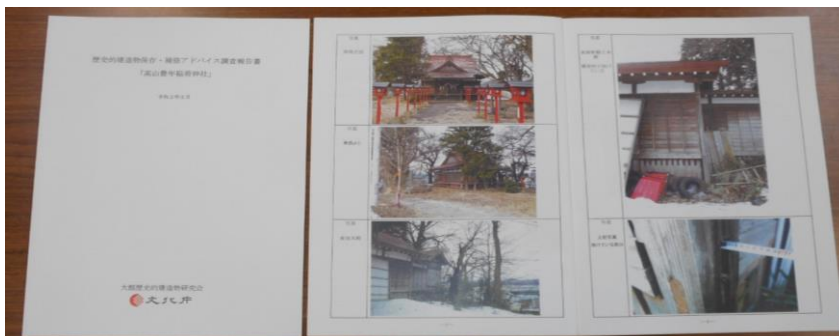
	実施日	調査等場所	活動内容
1	令和元年7月21日	料亭末廣	歴史的風致形成建造物指定候補建造物調査
2	令和元年8月3日		第1回ステップアップ講座
3	令和元年10月26日	比内地域全域	地域別歴史的建造物調査(57軒)
4	令和元年11月23日	高山豊年稲荷神社	歴史的建造物保存・補修提案調査
5	令和元年11月30日		第2回ステップアップ講座
6	令和2年2月23日		歴史的建造物シンポジウム(約40人参加)



地域別歴史的建造物調査／比内地域  
令和元年10月26日



歴史的建造物シンポジウム  
令和2年2月23日(約40人参加)



歴史的建造物保存・補修アドバイス調査報告書(高山豊年稲荷神社)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
秋田犬情報発信拠点整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和3年度

支援事業名 秋田県市町村未来づくり協働プログラム(県補助)  
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。大館市観光交流施設「秋田犬の里」の整備を行い、天然記念物秋田犬の歴史や文化を情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館市観光交流施設「秋田犬の里」が平成31年3月に完成し、4月のオープン後、多くの市民や来訪者が訪れた。また、大館駅前の忠犬ハチ公銅像を施設前に移設し、引き続きハチ公の慰霊祭と生誕祭を開催した。平成31年4月9日(完成式典)、平成31年4月17日(プレオープン)、令和元年5月8日(グランドオープン)

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	--------------------------

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

市民や来訪者が秋田犬に興味を持ち、飼育の情報などを交換する拠点となる施設運営を目指し、より秋田犬の魅力を発信する。

状況を示す写真や資料等

○大館観光交流施設「秋田犬の里」オープン



大正時代の渋谷駅をモチーフにした「秋田犬の里」来訪者をお迎えする「忠犬ハチ公銅像」



完成式典  
(平成31年4月9日)



32年ぶりに里帰りの「ハチ公のはく製」  
(令和元年5月12日まで特別展示)



秋田犬の里に移設後、初のハチ公慰霊祭  
(令和元年5月8日/グランドオープン同日開催)



秋田犬保存会秋田県北支部展の開催  
(令和元年11月3日)



鉱山や鉱山鉄道の歴史を紹介した  
鉄道パークを併設

○大館観光交流施設「秋田犬の里」来場者数

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	11	30	30	31	31	30	31	29	30	30	29	6	318
来場者数	22,497	48,527	38,133	26,065	43,586	26,018	25,440	27,416	20,753	19,657	14,728	2,317	315,137

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館城跡の三ノ丸周辺には、秋田犬の歴史を知ることができる秋田犬会館、本丸跡を眺める秋田犬銅像や狩野亨吉の生家跡の庭園があり、多くの市民や観光客が訪れる。しかし、愛宕神社などの歴史的資源へのまち歩きの拠点となる駐車場が近隣に少ないため、駐車場を兼ねた多目的広場の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

秋田犬会館や狩野亨吉の生家跡の庭園(石田ローズガーデン)への来場者の増加ならび歴史的建造物を巡るまち歩きの拠点となる三ノ丸地区に、来訪者の利便性を図るため駐車場に整備を行った。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

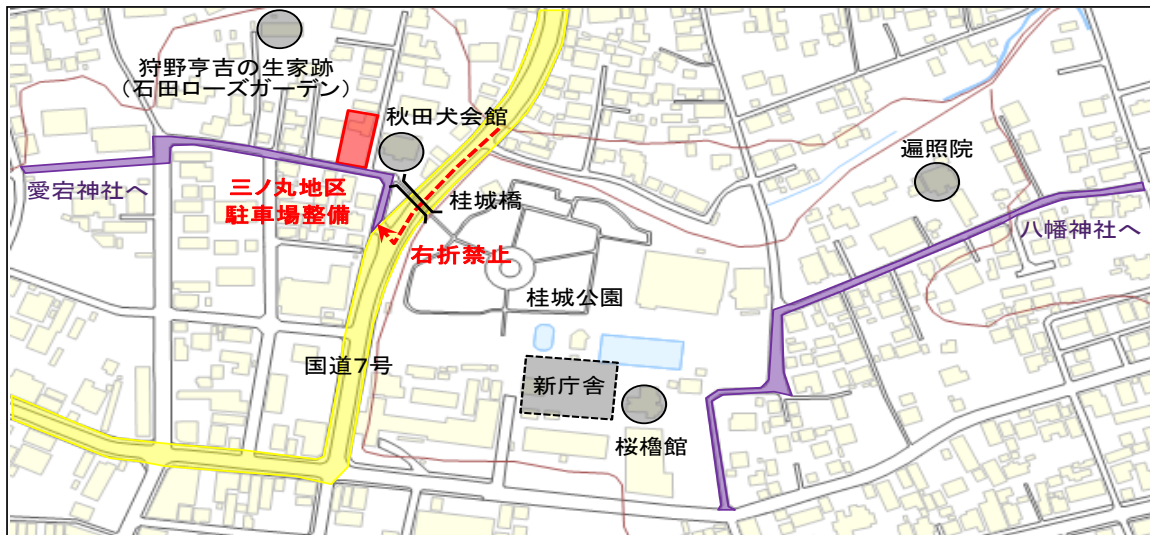
駐車場入口の視距及びアクセス道の道路空間を確保するため、占用物件である電柱の統合修景について、道路美装化にあわせて行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

○三ノ丸地区駐車場整備内容

駐車台数(27台)内1台:身体障害者用

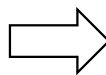
- ① 駐車場内の舗装工
- ② 駐車場内の排水工
- ③ 駐車スペース案内標識
- ④ 駐車スペースライン



三ノ丸地区駐車場(位置図)



三ノ丸地区駐車場(整備前)



三ノ丸地区駐車場(整備後)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
大館神明社周辺環境整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社の例祭では各講の大きな山車が、境内に参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路などを整備してその活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館神明社境内整備に向け、実施設計に基づき北側駐車場の整備に着手し、一部供用開始した。整備にあたり、支障木の伐採や石碑の移設など周辺環境に調和する環境を整えた。あわせて、令和2年度以降の整備計画について、関係者と打合せを行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和元年度に引き続き、境内における曳山車通路、参道美装化の整備にあたり、周辺環境との調和を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

○大館神明社曳山車通路及び駐車場整備計画(令和元年度～2年度)



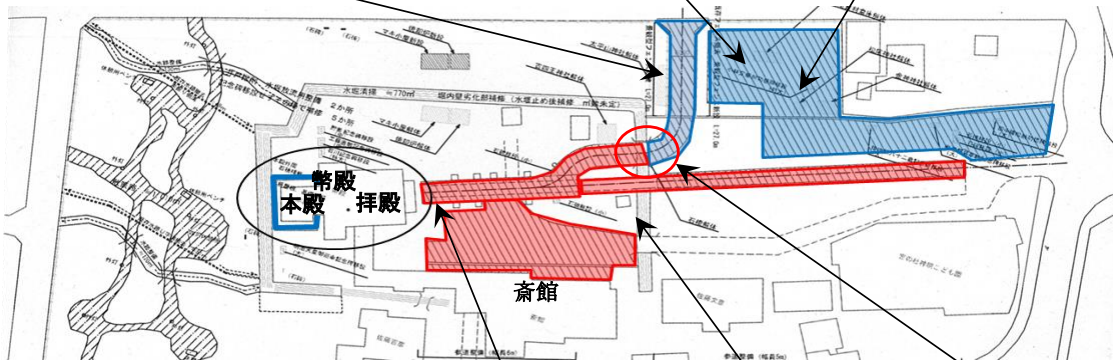
曳山車参拝通路新設  
(令和元年度)



広場を兼ねた駐車場  
(令和元年度)



支障木伐採・石碑移設・お社解体  
(令和元年度)



辛丑橋新設  
通路新設  
参道的美装化(石畳風)

完成イメージ図

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に点在する歴史的資源への案内が不十分であり、また歴史的資源の管理者が不在の場合、市民や来訪者への対応が困難となっている。外国人観光客を含めた来訪者への対応として、多言語表示及びQRコード付の案内板や史跡標柱の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
大館市どこでも博物館の会において、平成28年度から平成30年度までに市内の史跡33箇所にて史跡標柱の設置が完了した。令和元年度は、史跡の写真や説明文を掲載したホームページの充実を図るとともに、カラー印刷の冊子を発行した。 ・平成28年度 18箇所、平成29年度 10箇所、平成30年度 5カ所 ・多言語対応「日本語、英語、中国語(繁体語・简体語)、韓国語、タイ語」			

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民や来訪者が、史跡を巡るコースを所要時間に合わせて設定する。

状況を示す写真や資料等

○大館市どこでも博物館(史跡標柱カラー冊子)



○大館市どこでも博物館(全体会議)



全体会議(令和元年10月23日開催)



直近1カ月(774アクセス)1日あたり約25件



直近6カ月(4,223アクセス)1か月あたり約700件

全体会議資料(一部抜粋)  
ホームページのアクセス数



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
大館城下の町名板整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業

計画に記載している内容  
 大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。  
 まち歩きの見学性の向上を図るため、形状や意匠を統一する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成28年度より整備を進めているどこでも博物館(史跡標柱)と連携を図り、大館城門跡7箇所、料亭5箇所及び上町地区ほか城下町名・地名11箇所(計23箇所)に標柱を設置した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	大館城門跡や歴史的建造物等に設置した標柱を市民や来訪者が楽しんで巡る歴まち散歩ルートを設定する。

状況を示す写真や資料等

○どこでも博物館(史跡標柱)との連携

- ①かねてより整備中の「どこでも博物館」の標柱とデザインの統一化
- ②多言語翻訳(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語)対応
- ③QRコードより詳細説明文、多言語翻訳及び写真等の情報を提供
- ④WEB情報を「どこでも博物館」のホームページに掲載



○平成30年度(繰越)、令和元年度標柱設置箇所

NO.	平成30年度(繰越)	NO.	令和元年度
34	大館城大手門跡	45	旧料亭多美家
35	大館城東門跡	46	遍照院
36	大館城西門跡	47	金坂の坂
37	大館城穴門跡	48	穴門の坂
38	大館城搦手門跡	49	八幡町
39	大館城中城門跡	50	金坂町
40	大館城虎門跡	51	古川町
41	料亭北秋俱樂部	52	久保町
42	料亭末廣	53	土手町
43	旧料亭吉野家	54	上町
44	旧料亭濱家	55	赤館町
		56	部垂町



大館城門跡位置図(大館城下絵図)



大館城下ブラ散歩/東門跡標柱前  
 令和元年10月20日(文化財保護協会主催.30人参加)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
まち歩きマップ作成			現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者が、城下町にある文化財や歴史的建造物を巡る際に利用できるまち歩きマップを作成する。		

定性的・定量的評価(自由記述)

地域連携DMO秋田犬ツーリズム、大館商工会議所、旅行会社、デザイン会社及び近隣市町などと連携を図り、イラストマップや古地図の範囲において、GPS機能と連動するとともに、訪れたい場所をカテゴリー別に検索し、掲載情報の閲覧が可能となる「街歩きデジタルマップ」が完成した。

進捗状況

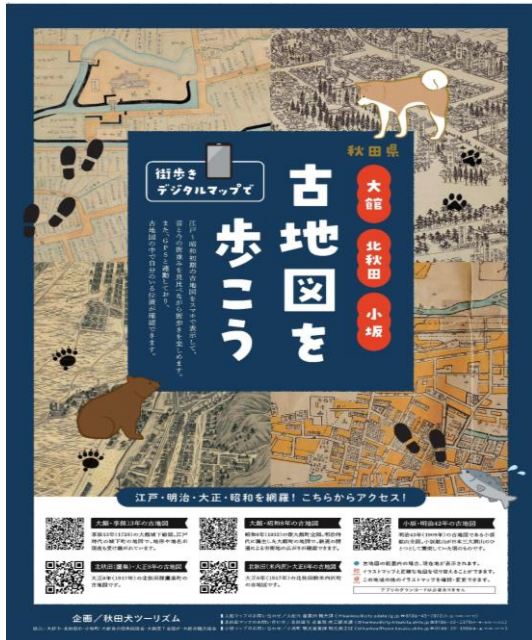
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

街歩きデジタルマップの検索情報の分析データを活用し、来訪者の回遊性の向上を図るとともに、近隣からの誘客につなげる。

状況を示す写真や資料等

○街歩きデジタルマップ(ポスター)



使い方

- 1 表紙のQRコードからサイトにアクセス!
- 2 行きたい場所を調べたり、自分の近くにあるスポットを調べたりできます。



第6回大館街歩きデジタルマップ準備委員会  
令和2年2月20日

【現在地の表示について】

- イラストマップの範囲内の場合、現在地が表示されます。スマートフォンの「位置情報の利用」を許可してお使いください。

【ボタンの説明】

- GPS** イラストマップの範囲内の場合、「GPS(現在地)」を押すと現在地が更新され、現在地が画面中央に表示されます。
- SWITCH** 「SWITCH(地図切替)」を押すと、イラストマップと正確な地図を切り替えることができます。
- MAPS** 「MAPS(地図)」を押すと、この地域の他のイラストマップを確認・変更することができます。
- ON/OFF** 「ON/OFF(表示/非表示)」を押すと、カテゴリーごとにランドマークピンの表示・非表示を切り替えることができます。
- SHARE** 「share」を押すと、LINE やSNS、メールなどで、このイラストマップをお友だちに送ることができます。

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。そこで、その地域における歴史や文化に光をあて、市民と一体となって、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

ガイドブックの作成にあたり、「趣のある大館市の建造物～あなたの心に残る建造物～」をテーマに、第2回大館市歴史まちづくりフォトコンテストを実施し、46作品の応募があった。歴史的風致維持向上協議会で審査を行い、歴まち大賞1点、歴まち賞2点について表彰した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

ガイドブック作成にあたり、資料収集のため、令和元年度に引き続き、第3回歴史まちづくりフォトコンテストを行う。

状況を示す写真や資料等

○大館市歴史まちづくりフォトコンテスト

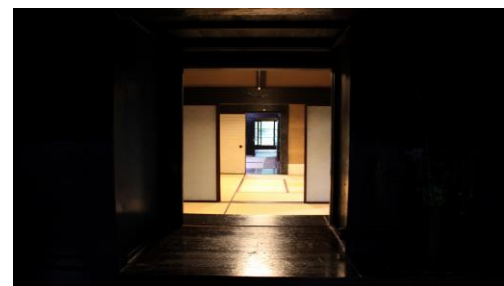
テマ	趣のある大館市の建造物 ～あなたの心に残る建造物～
募集期間	令和元年5月7日～令和元年9月27日
応募総数	46作品
審査方法	歴史的風致維持向上協議会
表彰	歴まち大賞(1作品)、歴まち賞(2作品)



歴まち大賞  
(枝垂桜満開/浄応寺)



歴まち賞  
(紅葉の高山豊年稻荷神社)



歴まち賞  
(鳥潟会館・通しの間)

第2回大館市歴史まちづくり  
**フォトコンテスト**  
**作品募集**

**📷テーマ** 趣のある大館市の建造物  
 ～ あなたの心に残る建造物 ～

**📷募集期間** 5月7日(火)～9月27日(金)

**📷応募資格** どなたでも応募できます。  
 プロ・アマチュア、年齢を問いません。  
 お一人で何点でも応募できます。

フォトコンテスト作品募集チラシ

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴史的案内人育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	生涯現役促進地域連携事業 市単独事業
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述)

継続開催している歴まち散歩において、大館松下村塾(歴史と歌の会)の協力をいただき、地域の道祖神を巡るコースを企画したところ、多数の参加者から好評を得た。(参加者30人)  
 また、大館市高齢者活躍支援協議会が事業主体となり、2回にわたり歴史や観光などの案内人養成講座を行った。  
 ・第1回目養成講座(12人受講)、第2回目養成講座(14人受講)

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	養成講座を受講された方々が案内できる機会を構築する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○歴まち散歩 ～地域の道祖神を巡る～



歴まち散歩の資料(抜粋)  
菅江真澄がスケッチした小雪沢の道祖神



地域の道祖神を巡る歴まち散歩  
令和元年6月8日(参加者30人)

○ふるさと大館探求講座 ～大館の魅力を伝える～

受講無料

## ふるさと大館 探求講座

～大館の魅力を伝える～

大館を訪れた方へ大館が好きになって、「また来たい」と言ってもらえるように、大館の「良いとこ、良いもの」を再確認してみませんか？  
大館の魅力を伝えるための方法を一緒に考え一緒に学んでいきましょう！

<お申込み・お問合せ>  
 大館市高齢者活躍支援協議会  
 TEL 0186-59-6108  
 ※詳細は裏面に記載



養成講座の様子(烏淵会館)  
令和元年7月19日(受講者12人)

日 程	内 容	会場/会場所在地
1日目 7月17日(水) 13:15～16:00	「人に伝えるために」～ガイドの心得とは～ 「秋田犬と秋田犬の里について」 「忠犬ハチ公の歩んだ歴史」	大館市観光交流施設 《秋田犬の里・会議室》 /大館市御成町1丁目13-1
2日目 7月19日(金) 10:00～16:30	フィールドワーク(観光体験)	集合:秋田犬の里 ※バスでの移動あり
3日目 7月23日(火) 13:15～16:10	「大館市の歴史と名所について」	《大館郷土博物館》 /大館市釈迦内字獅子ヶ森1
4日目 7月24日(水) 13:15～15:30	「大館市の特産～食と工芸品～」 「大館市の行事とまつり」	《秋田犬の里・会議室》
5日目 7月26日(金) 10:30～15:00	フィールドワーク(模擬案内体験)	集合:秋田犬の里 ※バスでの移動あり

【対象】  
年齢55歳以上で  
大館の観光に興味がある方  
※原則全日参加可能な方

【持ち物】  
★筆記用具 ★飲み物  
★7/19、26の昼食  
(持参又は  
近隣で各自調達)

ふるさと大館探求講座(1回目)募集チラシ



養成講座の様子(独鈷大日神社)  
令和元年11月27日(受講者14人)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
小・中学校社会科副読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和43年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館ふるさとキャリア教育の一環として、子どもハローワークにより、地域・企業が行う仕事やイベントのお手伝い、ボランティアへの参加などの体験を子どもたちに紹介している。子どもハローワークの取り組みを掲載した、「みんなのまなびしんぶん」第216号～第257号を発行した。

・令和元年度子どもハローワーク参加者(1,567人)

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○大館市ふるさとキャリア教育 ～学校と地域社会をつなぐ～  
 子どもハローワークの取り組み紹介(みんなのまなびしんぶん)

**大館ふるさとキャリア教育**  
**みんなのまなびしんぶん 第235号**  
 R1.6.30実施

**子どもハローワーク 「桜櫓館」の障子貼りで、文化財にふれる**

小学生の親子11人が、大館市中城にある市所有の国指定登録有形文化財「桜櫓館」で障子の貼り替えを行いました。

大館市まちづくり課歴史まちづくり係が、「子どもたちに体験を通して、桜櫓館に親しみをもち、文化財を大事にすることを学んでほしい」と企画しました。

障子の「さん」とは、枠のことです

障子のさんに障子紙をはがす液体を塗ります

市街地では、数少ない昭和初期の本格木造建築です

残ったのりや紙をへらできれいに取りましょう

障子のさんにのりをいねいにぬります

障子を押しえながらまがらないように貼ります

講師のシルバー人材センターの方から、のりを付けすぎないようにアドバイスもらいながら親子で協力して障子貼りを行いました。「障子がきれいになってうれしかった」「詳しく教えてもらい、上手にできてよかった」などの感想をもらいました。

ビフォー → アフター

大館市教育委員会教育研究所

みんなのまなび新聞(第235号)  
 国登録有形文化財「桜櫓館」障子貼り替え体験  
 令和元年6月30日実施(親子11名参加)

評価軸③-19  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～令和8年度

支援事業名 地域文化財総合活用推進事業  
伝統文化親子教室事業(教室実施型)  
市単独事業

計画に記載している内容 市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。また、次代を担う子どもたちへ、郷土芸能や生活文化などを体験できる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述)

民間4団体から構成する「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」において、情報発信事業で文化遺産ホームページやパンフレット作成の多言語化、普及啓発事業で祭語り講演会を開催した。(参加者40人)

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

平成30年度～令和4年度(5カ年)の事業期間中は、参加団体の募集を継続し、必要な支援を行う。

状況を示す写真や資料等

○地域文化財総合活用推進事業

	活動事業名	事業区分	平成30年度活動実績	令和元年度活動実績
1	文化遺産ホームページ作成	情報発信	概要版作成	英語版ページ作成 動画撮影・編集
2	文化遺産パンフレット作成	情報発信	日本語版作成(30頁) 6,000部	リーフレット等作成 (英語・中国語)
3	ヘリテージマネージャー育成	人材育成	養成講座13回開催 26人資格修得	ステップアップ講座 シンポジウム開催
4	秋田の祭囃子シンポジウム開催	普及啓発	祭囃子シンポジウム開催 30人参加	祭語り講演会開催 40人参加
5	大館囃子教則映像記録	記録作成	映像記録・編集 DVD作成(100部)	/
6	大館囃子講習会開催	後継者養成	講習会9回開催 370人参加	講習会9回開催 422人参加



大館“祭語り”2019  
～祭典の歴史を学び、未来へ紡ぐ～  
(令和元年11月30日 40人参加)

上段:文化遺産ホームページ動画編集(DVD)  
下段:文化遺産リーフレット作成(中国語)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和元年度地域応援プランにおいて、採択された10団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○地域応援プラン取り組み活動(令和元年度実績)

項目	地域	地区	団体名	活動テーマ
ステップアップ	大館	矢立	矢立自然友の会	秋田杉、温泉、羽州街道を活用した地域活性化
活動支援	大館	雪沢	茂内屋布町内会 ※協働団体:NPO大館・小坂鉄道レールバイク	旧小坂鉄道の未利用区間や茂内駅などを貴重な鉄道遺産として活用した、地域の生活環境保全と沿線地域の活性化
	大館	矢立	粕田生産森林組合	水芭蕉の生育環境や散策路の整備、登山道の整備などによる憩いの場の創出と地域の活性化
	大館	大館	御坂町内会	防災対策を通じて、共助の意識の醸成・地域コミュニティの強化を図る
	田代	岩瀬	羽貫谷地集落	集落センターでのミニデイサービスを拠点とした、健康・生きがい・交流・環境・防災づくりを行い、住民が支え合う集落を目指す
	大館	雪沢	黒沢町内会	月夜見神社を中心とした、伝統行事・歴史的風致を継承させていくための環境・体制づくり
	大館	大館	御成町二丁目町内会	商店街として発展した歴史を誇りに、訪れたい・住みたい人の多い「憧れの街」ブランド化戦略によるまちの再興を図る
	比内	比内	スポーツクラブひない	スポーツを通して、健康づくり・地域コミュニケーションの強化を図り、元気で活力あるまちづくりを目指す
計画支援	田代	岩野目	岩野目地域づくり協議会	田代公民館岩野目分館を活用した地域行事の継続、子どもから高齢者までが集える新たなイベント創出等を通じた地域コミュニティの維持・活性化
	田代	山田	十ノ瀬藤の郷を活用した地域づくりの会	十ノ瀬藤の郷を基軸とした、地域の観光情報の発信及び地域活性化



旧小坂鉄道茂内駅の歴史を紹介した看板の設置  
(茂内屋布町内会による活動)



水芭蕉生息地への散策路整備  
(粕田生産森林組合による活動)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
天然記念物(秋田犬)の保存及び育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

秋田犬保存会は、第140回秋田犬本部展覧会を令和元年5月3日に開催した。昨年までは大館城本丸跡の桂城公園が会場でしたが、市民体育館の解体等でスペースが確保できないことから、ニプロハチ公ドームの駐車場で初開催した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○秋田犬本部展覧会の開催



第140回秋田犬本部展覧会  
(ニプロハチ公ドームパークセンター駐車場)  
平成30年5月3日

○課題となっている秋田犬保存会員数や犬籍登録数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年
1月	82	220	413
2月	277	424	629
3月	213	548	949
4月	612	1,705	1,336
5月	1,525	2,904	1,850
6月	1,236	2,290	1,144
7月	991	2,174	964
8月	2,046	3,593	1,943
9月	1,072	2,010	1,174
10月	1,047	2,003	1,307
11月	888	1,302	941
12月	166	518	360
計(人)	10,155	19,691	13,010
増減	-	93.9%	-33.9%

秋田犬博物室の観覧者数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年
国内	2,310	2,460	2,500
海外	683	612	606
計	2,993	3,072	3,106
増減	-	2.6%	1.1%

秋田犬保存会会員数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年
国内	2,704	2,541	2,591
海外	3,967	2,284	1,519
計	6,671	4,825	4,110
増減	-	-27.7%	-14.8%

秋田犬犬籍登録数の推移



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統的工芸品の大館曲げわっぱの製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館曲げわっぱ伝統工芸士が、潟上市天王と男鹿市船越両地区の国重要文化財「東湖八坂神社の統人行事」に使われる曲げ物(供え物を入れる吊桶)の修復依頼を受け、曲げわっぱの技術で修理を完了した。  
令和元年9月21日に、暮らしに木を取り入れる木育活動「ウッズスタート宣言」を行った。また、AKITASUGIツリーズムは、関係団体と連携を図り、秋田スギへのこだわりを感じてもらうとともに、地域の文化に触れながらインバウンド目線で体験してもらう取り組みを行い、モデルツアーを企画した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

木育推進にあたり、子どもの頃から木材に親しめる木育空間の整備や木育インストラクターの養成など引き続き行う。

状況を示す写真や資料等

○曲げわっぱ伝統工芸士による「曲げ物」の修復完了



伝統工芸士による「曲げ物」修復作業  
(北鹿新聞社提供写真)

○木育活動「ウッズスタート」宣言(令和元年9月21日)



ウッズスタート宣言調印式  
(木育キャラバン)



誕生祝い品を贈呈  
(木のおもちゃ)

○AKITASUGIツリーズムの取り組み



曲げわっぱ製造体験/(株)大館工芸社  
(令和元年10月29日INAKASCHOOL14人参加)



木の文化・木のおもてなしガイドブック2019  
(モデルツアー・公開座談会掲載)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述)

・鳥潟会館庭園名勝地調査委員会を設立し、調査報告書のとりまとめに向けて、資料調査・現地調査を行った。  
 ・ヘリテージマネージャーステップアップ講座において、比内地域の歴史的建造物の地域別調査を行って、報告書を作成した。  
 ・無形民俗文化財については、大館囃子教則映像記録事業において、楽器毎の映像記録を作成し、貸出しを行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

・文化財の維持管理には多くの資金が必要で、所有(管理)者の負担も大きい。それだけに天然記念物の再生や、新たな重文を目指す取り組みには、多くの市民の理解や応援が必要であり、社会に還元するための活用にも考慮する必要がある。

状況を示す写真や資料等

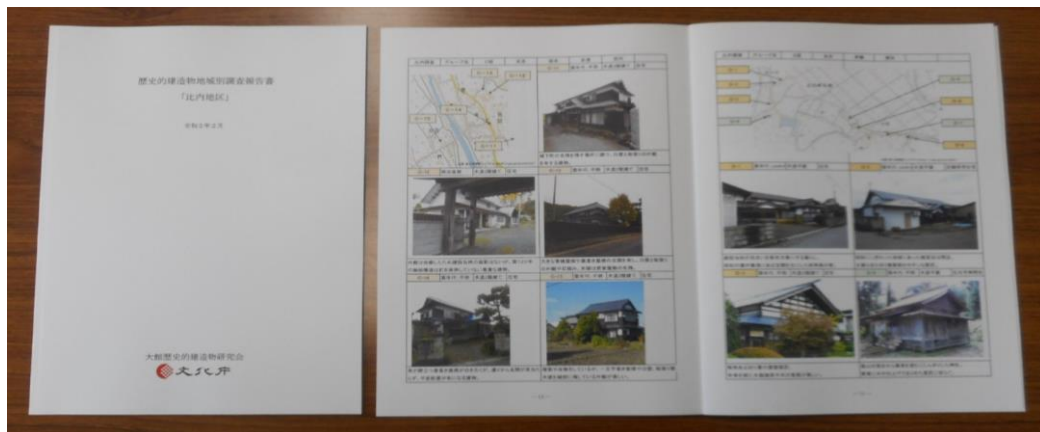
○鳥潟会館庭園の国名勝指定への取り組み(令和元年度実績)

鳥潟会館庭園名勝地調査委員会設立

- ・令和元年11月22日  
 調査等の経緯を報告  
 今後必要となる資料を協議  
 現地視察



○歴史的建造物地域別調査(令和元年度実績)



歴史的建造物地域別調査報告書(比内地域)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

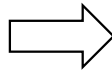
		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
・県指定文化財の鳥潟会館庭園の周囲のブロック塀を撤去した跡に竹垣(四ツ目垣)を設置した。 ・文化財防火デーに重要文化財八幡神社で防火訓練を実施した。(参加者約230人) ・文化財の防犯体制の徹底について、所有者等に指導・助言を行った。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・個人や民間団体が所有する文化財については、補助制度を活用しても相当の負担が必要であるため、修復等を行うのが困難な状況である。公共事業として周辺環境と一体に整備することが望ましい。		

状況を示す写真や資料等

○鳥潟会館庭園の危険ブロック塀の撤去後、竹垣(四ツ目垣)設置



危険ブロック塀(撤去後)



竹垣(四ツ目垣)設置

○文化財防火デー防火訓練



文化財防火デー防火訓練状況  
 重要文化財八幡神社(令和2年1月27日)  
 参加者約230人

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・大館郷土博物館の企画事業(8事業及び活用事業を実施(計4,110人))
- ・長走風穴クイズラリー・ガイドウォーク、鳥潟会館おひなさま展・ガイドウォーク、新春カルタ大会を実施(計547人)
- ・発掘調査(1カ所)、試掘・確認調査(12カ所)を実施

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・開発事業者に埋蔵文化財の保護の必要性がまだまだ浸透していない。様々な窓口と連携して、スムーズに埋蔵文化財の確認ができるように取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等

○大館郷土博物館(企画事業)

	企画事業名	企画内容	期間	入場者数
1	あきた埋文出張展示	米代川流域の古代遺跡の出土品の展示	平成31年4月27日～ 令和元年6月23日	796人
2	ザリガニ特別展 「大館のニホンザリガニを守ろう」	ニホンザリガニの人工飼育の状況を展示	平成31年4月27日～ 令和元年5月31日	554人
3	あきた埋文考古学セミナー	講演「火内村はどこにあったのか」	令和元年6月15日	90人
4	発掘調査速報展 「大館城 一我、尚モ地下ニ在リ」	平成28～30年度の発掘成果を展示	令和元年7月20日～ 令和元年9月23日	728人
5	昭和ロマン派展	ロマン派の油彩画や彫刻など50点を展示	令和元年7月26日～ 令和元年8月25日	521人
6	写真展「山田福男のまなざし」	急逝した写真家山田福男の写真展	令和元年10月19日～ 令和元年11月17日	631人
7	即位礼正殿儀記念無料開放デー	即位礼正殿の儀に合わせて博物館入館料を無料とした	令和元年10月22日	65人
8	おひなさま展	慶応元年の雛人形や昭和初期の押絵雛などの展示	令和2年2月7日～ 令和2年3月22日	725人



あきた埋文考古学セミナー  
(令和元年6月15日)入場者90人



発掘調査速報展「大館城 一我、尚モ地下ニ在リ」  
(令和元年7月20日～9月23日)入場者728人

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
第3回歴史まちづくりシンポジウム「広域連携でまちづくりを」	令和元年10月16日	北鹿新聞
民間まちづくり団体シンポジウム「歴史的建造物の活用」	令和2年2月24日	北鹿新聞

定性的・定量的評価(自由記述)

平成元年10月14日開催第3回歴史まちづくりシンポジウムは、「東北の平和を希求する想いをまちづくりへつなぐ」をテーマに、中尊寺山田貫首の基調講演や関連する4首長によるパネル討論を行った。美郷町から約30人を含む、県内外から約140人が参加し、歴史や文化を生かすまちづくりについて考えを深めた。

民間まちづくり団体は、令和2年2月23日に歴史的建造物の保全活用における実例の講演や活動実績について、シンポジウムを開催した。市民や関係者約50人が参加し、歴史的建造物を活用したまちづくりについて理解を深めた。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



大館市の歴史まちづくりシンポジウムは、10月14日、大館市立大館市民会館で開かれた。高八幡町の中尊寺山田貫首の基調講演や、美郷町、大館市、大館市、大館市の4首長によるパネル討論などを行った。参加者は約140人だった。

**歴史的建造物の活用を**  
 シンポジウムで工学院大理事長が講演

大館市立大館市民会館で開かれた第3回歴史まちづくりシンポジウムは、10月14日、大館市立大館市民会館で開かれた。高八幡町の中尊寺山田貫首の基調講演や、美郷町、大館市、大館市、大館市の4首長によるパネル討論などを行った。参加者は約140人だった。

工学院大理事長の講演は、歴史的建造物の活用について、大館市、大館市、大館市、大館市の4首長によるパネル討論などを行った。参加者は約140人だった。



大館市は、10月14日、大館市立大館市民会館で開かれた。高八幡町の中尊寺山田貫首の基調講演や、美郷町、大館市、大館市、大館市の4首長によるパネル討論などを行った。参加者は約140人だった。

**奥州藤原氏の縁**  
 広域連携でまちづくりを  
 大館市で4首長がパネル討論

大館市は、10月14日、大館市立大館市民会館で開かれた。高八幡町の中尊寺山田貫首の基調講演や、美郷町、大館市、大館市、大館市の4首長によるパネル討論などを行った。参加者は約140人だった。

美郷町民も参加  
 大館市立大館市民会館で開かれた第3回歴史まちづくりシンポジウムは、10月14日、大館市立大館市民会館で開かれた。高八幡町の中尊寺山田貫首の基調講演や、美郷町、大館市、大館市、大館市の4首長によるパネル討論などを行った。参加者は約140人だった。

歴史的建造物の保存と活用を考えるシンポジウム  
(令和2年2月24日 北鹿新聞)  
参加者約50人

第3回歴史まちづくりシンポジウム  
(令和元年10月16日 北鹿新聞)  
参加者約140人

○歴史まちづくりに関連した報道記事(北鹿新聞)

- ・平成31年 4月10日 「秋田犬の里」完成
- ・令和元年 5月 4日 ドームで秋田犬本部展
- ・令和元年 5月26日 国道7号長倉地区無電柱化へ工事進む
- ・令和元年 6月22日 八幡神社覆屋建替え「遷座祭」
- ・令和元年 7月 1日 大日神社湯立ての儀式
- ・令和元年 7月 3日 半夏生「雨の田代岳に登山者」作占い
- ・令和元年 7月17日 扇田神明社祭典みこし町内練り歩く
- ・令和元年 8月 4日 大館ばやしDVD市内小中学校に寄贈
- ・令和元年 8月12日 大文字まつり「大文字と花火が競演」
- ・令和元年 9月12日 大館神明社祭典御旅所で御神輿「お迎え」
- ・令和元年11月 4日 郷土芸能担い手育て「子どもまつり初開催」
- ・令和元年11月 7日 歴史的風致維持向上協議会開催
- ・令和元年11月14日 大館神明社本殿基礎、玉垣を改修
- ・令和2年 1月11日 教職員実践発表会「大館ばやしの体験も」
- ・令和2年 1月17日 どこでも博物館標柱設置56カ所に
- ・令和2年 2月 9日 大館アメッコ市開幕「人と春呼ぶアメの花」
- ・令和2年 3月22日 桜橋館「歴史価値守り耐震改修」
- ・令和2年 3月31日 歴まちフォトコンテスト結果発表

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目 交流人口の拡大及び広域連携の促進

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述)

ハチ公銅像がある渋谷区と忠犬ハチ公の物語りで紡ぐ交流の継続により、ネットワークが形成され、ハチ公のふるさと「大館」の魅力の発信につながる企画が民間も含め動きだした。また、東京オリンピック・パラリンピック選手村の交流施設「ビレッジプラザ」に提供した秋田杉の利活用にあたり、渋谷区や民間企業と秋田杉の木材利用の事例紹介や提案などPR活動を行った結果、前向きに検討いただける事に繋がった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
■計画の進捗に影響なし

東北の歴まち認定都市と交流を重ね、相互の都市の活性化に繋げていく。

状況を示す写真や資料等



○広域連携都市の位置  
東北の歴まち認定都市や奥州藤原氏の縁を巡る都市とのネットワーク形成を目指している。  
また、函館を玄関口とする北海道と天然記念物秋田犬をフックに交流が続く渋谷区などの首都圏を結ぶ。



渋谷で忠犬ハチ公銅像と同じく待ち合わせスポットとなっているモニュメント「青ガエル」を秋田犬の里へ移設することが決定(渋谷駅前の青ガエル/渋谷区観光協会管理)



渋谷区の木材利用推進にあたり、秋田杉の木材利用の事例紹介や提案などPR活動の状況(渋谷区役所/令和2年1月13日)



令和元年12月に東急プラザ渋谷にオープンした「GMOデジタル・ハチ公」(ハチ公の生い立ちなどが動画で公開、大館とハチ公の関係が紹介されている)



大館駅前まちあるき協議会と渋谷区観光協会との意見交換(渋谷区観光協会/令和2年2月13日) 北鹿新聞社提供写真

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度		令和元年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称 : 大館市歴史的風致維持向上協議会		
<p>会議等の開催日時 :</p> <p>①令和2年3月11日～19日 令和元年度取り組み状況や具体化方策について(書面報告)</p> <p>②令和2年6月 3日～12日 令和元年度進捗評価シートの内容について(書面協議)</p>		
(コメントの概要)		
<p>○桂城公園(大館城本丸跡)修景整備の計画策定にあたり、歴史的建造物の大館八幡神社や桜櫓館との連続性をよく考えてほしい。</p> <p>○大館城本丸跡にあった市民体育館が解体されたことは、大館の歴史を考え直すよい契機になったと思われる。</p> <p>○電線共同溝整備地区における整備後の街なみの形成や、建築物の景観のコントロールについても、あわせて検討してほしい。</p> <p>○大館神明社例祭が執り行われる本殿廻りの改修や境内整備について、優れた事例として広くPRしてほしい。</p> <p>○都市計画道路の見直しについて、住民との意見交換を積み重ねる必要がある。</p> <p>○景観計画の策定及び屋外広告物の設置規制について、令和3年度以降に同時進行で着手予定であるが、スケジュール等の検討が必要である。</p> <p>○歴史まちづくりに関連する事業が数多く活動されていることに驚いている。この活動について広く市民へ知っていただけるよう情報発信してほしい。</p>		
(今後の対応方針)		
<p>○具体化方策の実現に向け、関連団体や関連部署と引き続き意見交換を積み重ね、歴史的風致の維持向上を図る。</p> <p>○歴史まちづくりの取り組み状況や具体化方策の整備内容などについて、歴まち散歩や出前講座の開催を通して広く周知する。あわせて広報やホームページを活用し、情報発信を図る。</p>		